



三条北ロータリークラブ週報

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

国際ロータリー会長 ラジェンドラ.K. サブー 第2560地区ガバナー 橋本 力

例会日

1991. 8. 6

累計 No 231

当年 No 6

会長 / 山上 茂夫

幹事 / 堀川 正幸

SAA / 河井 増雄

例会日 / 火曜日 PM12:30~1:30

例会場 / 三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局 / 三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事： 橋本 力ガバナー公式訪問 100%出席例会

出席： 本日の出席 52名中47名

先週の出席率 52名中49名 94.23%

7月の出席状況 会員数 52名 例会数 5回 平均出席率 91.92%

先週のメイクアップ： 7月31日 三条RCへ 村山誠一君 落合益夫君

8月4日 新潟県IM打合せ会へ 梨本清一君

5日 三条南RCへ 吉川吉彦君 馬場直次郎君 加藤英男君

6日 北記帳 羽賀一夫君

ビジター： 三条RCより 加藤紋次郎君 大谷幸平君 小林敬典君

会長挨拶： 山上茂夫

本日は橋本ガバナーをお迎えし、又山岸分区代理をお迎えしての例会でございます。お天気も昨日は本当にびっくりするような急な雨になってまいりまして、せっかくのお祭りも充分にお楽しみいただけなかったのではないかと感じております。今日は幸いすっきり晴れまして、それも花火ということで今夜にぎやかに三条のお祭りを楽しめる、そういうお天気になってまいりました。これもひとえに皆様のご精進の良さだというふうに感じております。今朝ガバナーをお訪ねいたしまして、いろいろお話を承ってまいりました。私達が今直面している問題といたしましては、若い人達に対するしつけの問題、それから自分の出来る奉仕を何が出来るのか探しながら気楽に楽しく奉仕をやってゆけばいいのだということでもございました。その他にもたくさんロータリーの心髄にふれるお言葉を賜りましたけれど、それぞれ受けとる受けとりかたは皆違っていらっしゃると思っております。それぞれが自分の受けとめかたによって、自分の器によって、それがどういう実のあるものであるか、それを実のある豊かなものにするためにはやはりそれぞれが自分の気持を豊かにして、そして人のお話も良く聞き、先輩の考えをしっかりと受け継いで次代に渡さなければいけないというお話だと私は理解いたしました。さらにこれから協議会ということで微に入り細に渡りご指導い

ただけものと思います。本日はガバナー、分区代理、大変ご苦労さまでございます。又長時間で
はございますけど、我々、北クラブの若い会員に対しまして、又クラブそのものに対しまして充分
なるご指導ご鞭達をお願いしたいと思います。簡単でございますけど時間でございまして、ちょっ
と北ロータリークラブの今までやってきたことで、会員がひとつつけとめながら、ひとりの会員と
してロータリアンとして奉仕をしているということをご披露申し上げたいと思います。たしか88年
度だったと思いますけど梨本会長の時代それから平松会長の時代でございましたが、ジャイカ作戦
ということが行なわれました。これは今までロータリーが箱もののあるいは財物でいろんなモニユ
メントをつくる、そういったことに協力をして、あるいはそういったことを功績として活動してお
ったものが、これからは違う視点で中身を充足させるような、あるいは人間を豊かにさせるような
教育でなければいけないのではないか、そういう奉仕でなければ本当の奉仕につながらないのでは
ないかというようなことから国際交流を含めまして外国の方をお呼びして各会員のご家庭に宿泊を
していただいて理解しあった、そういうようなことで大変成果を上げた事実がございます。それは
2年間つづきましたが、その後、会員が個人的にその精神を受け継いで、今年もホームスティが行
なわれたということをご報告申し上げたいと思います。会員の吉川さんのお宅に今年も7月23日か
ら7月27日まで、おひとりの方が宿泊をされて会員のご家族が皆で接待をされたということでござ
います。これは梨本、平松会長時代のことを受け継がれて真のロータリアンが見えないところで成
長しておられる、そして立派な奉仕をしておられるということでございます。そういうことも若い
クラブではございますけど、ひとつひとつ出来ることからやっていきたいと考えております。大変
簡単なおあいさつでございますけど開会のおあいさつにかえさせていただきます。どうもありがと
うございました。

幹事報告： 堀川幹事

◇「三条夏まつり実行委員会」委員承諾の礼状が届いております。

◇ダムダム'91実行委員会よりパンフレットの送付がありました。

◇三条クリーン協力議会より第3回担当者会議開催のご案内

日 時 8月9日(金) 12:00～

会 場 三条商工会議所

◇原 猛パストガバナーより前会長・幹事宛礼状が届いております。

◇1991～92年度地区大会事務局開設のご案内

所在地 〒373 群馬県太田市飯田町 584

群馬銀行太田支店内

太田R C大会事務局

◇1991～92年度国際ロータリー第2560地区ガバナー事務所より挨拶状とお盆休みのご案内

日 時 8月14日(水)～16日(金) お盆休み

◇例会変更 燕 R C 日 時 8月15日(木) お盆につき休会

吉田 R C 日 時 8月16日(金) お盆につき休会
23日(金) 納涼例会

三条 R C 日 時 8月14日(水) お盆につき休会
28日(水) 納涼例会

巻 R C 日 時 8月15日(木) お盆につき休会
22日(木) 納涼例会

委員会報告：

出席委員会 内藤委員長

本日の橋本ガバナー公式訪問100%出席例会は、予定より100%を達成いたしました。本日欠席の5名の会員のメーカーについて確認済みです。

ロータリー財団委員会 笹原委員長

橋本ガバナー公式訪問を記念して一人一口財団にご寄付をお願いします。

ニコニコボックス：

山上茂夫君 橋本ガバナーの公式訪問心からご歓迎申し上げます。今日のご指導よろしくお願ひ申し上げます。

中條耕二君 橋本ガバナーの公式訪問、心からご歓迎申し上げます。

内藤修君 出席委員として100%例会ありがとうございました。橋本ガバナー、山口さん歓迎致します。

稲田憲治君 息子達2人はすくすくと大きく育っています。ロータリーを理解させることはまだ無理ですが、私の身長からみると、「自分を越えた背を」しっかり持っているようです。金も要らない女も要らない私はいも少し背が欲しい。

樋口金占君 橋本ガバナー歓迎して8月1日クラブゴルフコンペ15安打で優賞さして頂きました。皆様の友情に感謝して。

米山忠俊君 橋本ガバナー、公式訪問歓迎して、本日はよろしくお願ひ致します。

ゴルフ同好会一同

8月1日群馬県の沼田スプリングスカントリークラブでのコンペでペナルティー合戦を行った結果、上記金額が集まりました。ひどいカミナリに助けられてカミナリオやじの樋口さんが15アンダーで優勝されました。オメデトウ。

梨本清一君 橋本ガバナー、山岸分区代理ご苦勞様でございます。ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

平松利朗君 橋本ガバナーのご来訪を心より歓迎申し上げます。ご指導よろしくお願ひ致します。

高橋彰雄君 橋本ガバナー歓迎申し上げます。よろしく御指導お願ひ致します。

金井克義君 橋本ガバナー、山岸分区代理を歓迎して、今夜は花火が上がります。

江口悟君 橋本ガバナー、山岸分区代理御苦労さまです。

堀川正幸君 今日のご指導ありがとうございます。

大野新吉君 橋本ガバナーを歓迎して。

斉藤正君 橋本ガバナーを歓迎して、宣敷しくご指導の程お願い申し上げます。

山下厚君 橋本ガバナーを歓迎致します。

白崎哲男君 橋本ガバナー公式訪問記念して。

山本賢君

味方義一君 ガバナーの公式訪問ご歓迎致します。よろしくご指導の程お願い致します。

小林満君 橋本ガバナーご指導よろしくお願い致します。

河井増雄君 橋本ガバナーの訪問を歓迎します。又、ご指導の程よろしくお願いします。

佐藤啓策君 橋本ガバナーようこそいらっしゃいました。御指導の程宣しく御願い申し上げます。

笹原勝治君 以下同文

梨本建夫君 ガバナーを歓迎いたします。「バカはカゼを引かぬ」とかいいますが、シッカリ夏カゼを引いてしまった。喜ぶべきか悲しむべきか!?

丸山誠一君 橋本ガバナー、山岸分区代理ようこそ、わが北ロータリーへ、吹奏楽の県大会、8月10日、11日です。関東大会へ三条から行けることを祈って。

山本充君 橋本ガバナーの御訪問を歓迎して

目黒宣行君 橋本ガバナーを歓迎して。よろしくご指導の程お願い致します。

山崎勲君 橋本ガバナーの公式訪問を記念して。

加藤実君 橋本ガバナー大変ご苦労様です。歓迎を申し上げます。

木宮隆君 橋本ガバナーご指導よろしくお願いいたします。

坂内康男君 ガバナー公式訪問を記念して。

刈岡茂君 橋本ガバナーを歓迎して。御指導宣しくお願いします。

石川勝行君 橋本力ガバナー公式訪問にあたって、よろしくご指導の程お願い申し上げます。

早川龍雄君 橋本ガバナー本日の御指導よろしくお願い致します。

長谷川博一君 橋本力ガバナーを歓迎して、

佐藤義英君 橋本ガバナーをかんげいして。

落合益夫君 橋本ガバナー御指導よろしくお願いします。

阿部誠一郎君 ガバナー公式訪問宣しくお願いします。

鈴木英友君 橋本ガバナーを歓迎して

赤塚正樹君 ガバナー公式訪問を歓迎します。

村山誠一君 ガバナー公式訪問を記念して

本間建雄美君 橋本ガバナーの公式訪問を歓迎して。

卓話： 橋本 力ガバナー



ご紹介いただきました橋本力でございます。今日ここに公式訪問をして何か青年会議所に来たような錯角におちいります。私共のクラブでは私より先輩はたくさんおりますが、この北クラブさんにお伺いしましたところがSだけでTはひとつもございませぬ。Mはもちろんでございます。ということは非常に若いクラブだと、そのように思いました。大多数の方々は私の倅のように感じました。ここに梨本先生がいらっしゃいますが、去年はライラを教えていただきましてありがとうございました。私は昔、幹事をしたことがありますが、この地区に出でなかつたものですからライラがどういうものか全然知りませんでした。ところが去年は原ガバナーに呼び出されまして、お前がやるんだということで始めてガバナー代行をさせられまして、ライラというものは非常にいいもんだなとつくづく感じたわけでございます。私はロータリーというものはあまり固苦しく考えないほうがいと常々思っております。ロータリーは理屈ではない、実践だと思いますね。これはロータリーに対する私の信念でございまして、行動のないものは、理論だけのものはすべてダメだところ思っております。いくらいいことをしゃべっても実践がなければ何も分りませんですし、だれもロータリーのことを信用してくれないんじゃないかと思ひます。是非、皆様方は若い力でロータリーを推進して欲しい、これが私のお願いでございます。一番、皆様方は私が掲げております青少年奉仕に近い方々なんですね。今、子供さんをお持ちの年齢なんですね。今、子供をしつけるということが仲々私共が考えるようなことでは行なわれておりませぬ。どうも日本が戦に負けたおかげで日本の良いものまでも全部捨ててしまった。悪い軍国主義は捨てられて結構ですが、我々が人間として行なうべき道までもなくなってしまった。特に私は20年前に韓国にまいりまして、韓国では儒教精神が今だ立派に実行されております。これには非常に驚きました。韓国の青年は両親の前では仲々タバコは吸えませぬ。先輩の前でも許可がない限り吸えないということです。それは両親を敬い、上長を敬うということなんだそうです。私の若い時にはそういうことは教えをうけたものです。そういうことは戦に負けても捨て去るべきものではないんですね。是非、皆さんには若い人達だからこそ自分の子供達にしつけをして欲しいと思ひます。私は若い頃にキリスト教会に行ったことがあるんですが、教会の牧師の奥さんは子供がいたずらをするとき小わきにかかえてペンペンとおしりをたたくんですね。なぜアメリカは暴力はいけないういながらたたくんですねと言ったら、人間の子供でも最初は動物と同じなんです。しつけをしなければ人間になっていかないんです。だから悪いことをした時には即座にたたく、人が見ていようとかまわれない、たたいてこういうことをするとしかられるんだということを身をもって体験することが大切なんだという話をうかがひまして、なるほどなと思ひまして私は今でも孫はいうことをきかないとたたきます。しかし孫がなんていうかと思うと、おじいちゃんはいかに友達だというんです

ね。女性がだんだん強くなっていますが、お父さんも強いお父さんであって欲しいと思います。大東亜戦争が終って50年がたつわけですが、半世紀ですが、そろそろ反省をしていいんじゃないかと思ひます。戦争で死ぬことを若い頃はなんとも思わなかった、これも教育によるものです。教育は学校の先生にまかしておけばいいものではありません。若いおとうさん、自分の子は自分でしつけてください。他人にしつけてもらうのではないということを反省して欲しい。日本の一番良かった家族主義は解体されてしまい、そして自由ではなく奔放になってしまったんですね。戦後の日本の教育は権利は教えてくれますが、義務を果たすんだということが学ばれていないんですね。その結果、義務を果たさず権利だけを主張する世の中になってしまった。私は国際協論会にまいりまして本当のインターナショナルを身に感じたんですね。となり同志、白もいれば黒もいる、黄色もいれば茶色もいると、本当に世界中から491名のガバナーノミニーが集まってまいりました。2560地区のガバナーノミニーとしてはひとりでございますけれども国際協議会に行きますと一度に30人の友人が出来ました。各地区から送られてきたガバナーノミニーということで、かなり優秀な人達です。こういう人達といろいろ話をし私達は非常に自信をつけてまいりました。ロータリーってのはいいもんだと思ったんですよね。本当に。なぜかという私が70を過ぎて一度に30人の友人が出来たんですよね。ロータリーてのは良い友人をつくるころなんですね。これは自分ですすんでやらなければ出来ないんです。RI会長から「自分を越えた目を」という言葉が出たわけですが、これはインド哲学から出た高尚なものです。まあ、私達は私達の出来ることからやりましょう。まず、自分達のことは自分達ですということをお子に教えて欲しい、体で覚えさせて欲しいと思ひます。私は今、ボーイスカウトのことを一生懸命お手伝いしております。ガールスカウト、ボーイスカウト、これはお父さん、お母さんにも一緒に出してもらっています。親子教育なんですね。今の若いお父さん、お母さんはだいたいしつけをされてないんですね。ですから、そういう人達も一緒にやらなければいけないと私は考へて、今一生懸命奉仕をしております。これは又、私のボケ防止でございます。若い人達といわゆる孫と一緒に遊ぶようなものです。私は73歳をこえましたので、このクラブに伺うと一番、年長の方でも私より10歳くらい若い、大正はひとりもいないということで私としては非常に気分が若くなったような気がいたします。まあ、そういうことで皆様方の子供のしつけをして欲しい。そして立派な人間に育てて欲しいと思ひます。ロータリーはインターナショナルでございますから、世界に出た時にたしかに日本は経済的には優位に立っております。しかし、マナーが悪ければ世界中の人達からソッポをむかれますよね。それでは日本はやって行けなくなりますよね。資源はない人間だけだということになれば、どうして世界の人達と仲良くするのか、やはりちゃんとしたマナーをお子達に身につけさせなければ、やがて日本は世界からつまはじきされてしまうことになるでしょう。そういうふう非常に危惧をしているわけです。そういう意味で、皆様方は若いお父さんでありますから、まず自分のところからしつけをして欲しい。そして世界中の子供達にその手を差し延べて欲しいと思ひます。私の見るところ、日本人は自分の子だけを大切にするという感じが非常に強いところがありますね。しかし、やはりインターナショナル

である以上、世界の子供達に目をむけなくちゃいけないと思います。国際協議会に行って、私はちょっとピントが合わないところがあったんですよね。なぜなら、文盲と飢餓を追放と言っているんですから。日本人、特に新潟の人はうまい米をたらふく食べているわけですから飢餓なんて言っても分からないですよ。我々にはピントきません。しかし、世界はそういう状況なんですよ。いかに日本人は幸福であるか、これを次の世代まで引き継いで行かなければならない。その為に立派な人間をつくって欲しい。それしか日本の生きる道はないんじゃないかと思いますね。それから、財団につきましては、私は毎日100円をお賽銭に入れて欲しい。そしてこれをひとつ半年してたまったら寄付してください。そして、これを一年つづけると、人間は忘れることが多いのですが、それにしても1年で3万円くらいは集まるだろうと思います。今の円レートで200ドルになります。この200ドルを2560地区で集めると100万ドルは楽に集まるんですよ。しかし、過去、この地区において50万ドルという金額に達したことはないわけなんです。私は今日、17、8年前のバッチをつけてきました。これはポールハリスフェローですが、私は36万円払いました。100円の募金をつづけますと、皆さんは30年はもちますから、これを30年つづけると皆がサフィアが5つ付いたバッチがとれるんですよ。これは6000ドルでございます。皆さんはロータリアンである以上、継続して毎年、毎年、やって欲しいんです。フェローになることが目的ではないんですよ。開発途上国の人達からは、日本はお金持だから是非、援助してくれと言われるわけなんです。皆様にとって100円を積み立てるということは、出来ないということではなくて、やる意志の問題ですよ。是非そういうことで積み立てをお願いしたいと思います。それから環境問題ですが、南の方の国のガバナーに言わせると日本が皆、我々の国の材木を切ってもって行くと極論する人もいますよね。紙を使い、材木を使うのは日本が一番、多いそうですね。こういうことだと、いくら植林しても30年、50年しなければ使いものになりませんよ。だから、節約ですね。そういうことにもって行かなければならないんじゃないかと私は考えます。紙を無駄に捨てたり、家を壊すと材木を燃やしていますが、そういうことをせず、節約を旨としてもらいたい。実に不経済だと思いますし、もの大切にしないということで、粗大ゴミですとかいろいろ出てきますし、大都会では今、いわゆるゴミ戦争なんですよ。誰が出すかって、みんな我々が出すんですよ。我々、ひとりひとりが本当に反省して気をつけることによって、ゴミなんかたちまち半減するんじゃないですかね。そのようにお考えになって、実行して欲しいと思います。ロータリーは理論を言う場所ではなくて実行する場所です。そして世間の皆様方に広めていく責任があるわけです。少くも皆様方は社会のリーダーのひとりであるわけですね。そういうわけでございます。ちょっと時間が超過しましたが、これで終わります。ありがとうございました。

8月13日例会： ロータリーを知ろう第2回 私とロータリー 平松前会長

8月20日例会： 地域社会を理解しよう第2回 三条青年会議所理事長 島田幸廣

